

【参考資料】各クラスターの特徴一覧

クラスターネーム	特徴	好きな作品例	性別構成比
胸キュン系洋画好き	気分やモチベーションを上げてくれる映画が好き。映画みたいに恋したい！あの主人公のようにになりたい！憧れや理想が詰まった映画に惹かれる。登場人物のファッションも楽しみ。	<ul style="list-style-type: none"> ● マイ・インターン ● プラダを着た悪魔 ● アバウト・タイム ● 世界一キレイなあなたに ● ピッチ・パーフェクト 	<p>男性 18% 女性 82%</p>
ファミリー映画好き	映画で素直に泣きたい！笑いたい！感動したい！ジブリやディズニーをはじめ、地上波でおなじみのメジャー作品を選ぶことが多く、安心して観られる王道ストーリーを好む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 千と千尋の神隠し ● ハリー・ポッターと賢者の石 ● ファンタスティック・ビースト ● ファインディング・ニモ ● 美女と野獣 	<p>男性 30% 女性 70%</p>
ドラマ俳優フォロワー	普段TVドラマやCMでよく見るあの俳優が出演していることが、その映画を観たいと思う大きなポイント。TVの情報がいっしょに映画館へ足を運ぶ人が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 劇場版コード・ブルー ● マスカレード・ホテル ● 銀魂2 ● スマホを落としただけなのに ● コンフィデンスマンJP 	<p>男性 31% 女性 69%</p>
等身大リアル系邦画好き	映画を楽しむ上でリアリティがあることが最も重要。ゆえに壮大なフィクションよりも、日本を舞台にした等身大の人間ドラマを好む。好きな俳優は映画・舞台出身の“演技派”であることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛がなんだ ● 怒り ● 湯を沸かすほどの熱い愛 ● 百円の恋 ● 海街diary 	<p>男性 35% 女性 65%</p>
ミニシアター系映画通	観たいと思う映画はいつもミニシアター系が多い。敬愛する海外監督の最新作は劇場で観たい。映画以外のカルチャー、LGBTや社会テーマにも関心が強く、映画解説やコラムを好んで読むタイプ。	<ul style="list-style-type: none"> ● シェイプ・オブ・ウォーター ● 君の名前で僕を呼んで ● パターソン ● スリー・ビルボード ● 犬ヶ島 	<p>男性 44% 女性 56%</p>
往年の名作ファン	劇場最新作も追う一方で、アカデミー賞受賞作をはじめ、名作と呼ばれる過去の作品への熱量が強い。洋画ヒューマンドラマを中心にジャンルを問わず、どんな作品でも観るタイプ。	<ul style="list-style-type: none"> ● ショーシャンクの空に ● セッション ● レオン ● ニュー・シネマ・パラダイス ● ゴッドファーザー 	<p>男性 64% 女性 36%</p>
アメコミ系映画ファン	MARVELやDCなどヒーロー＆ヴィラン映画への熱量が非常に高い。マンガやアニメも好きで「最強は誰だ?」といったトークで盛り上がる。キャラクター愛が強く、グッズを揃えるのも楽しみ。	<ul style="list-style-type: none"> ● アベンジャーズ ● スパイダーマン ● X-メン ● 名探偵ピカチュウ ● プロメア 	<p>男性 74% 女性 26%</p>
洋画スペクタクル派	映画を選ぶ上では興奮できるか、スカッとできるかが重要。ドキドキワクワク、ストレス解消を求めて映画を楽しむ。アクションやスリラーを中心にハリウッド大作系を選ぶことが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ● ミッション：インポッシブル ● ワイルド・スピード ● ジョン・ウィック ● MEG ザ・モンスター ● ドント・ブリーズ 	<p>男性 78% 女性 22%</p>